

新潟大学 遺伝子倫理審査委員会 オプトアウト書式

研究課題名	慢性腎炎の発症と進展に關与する遺傳背景の解明を目的とした研究
対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>・2001年9月から2012年3月までに「IgA腎症の発症と進展に關与する遺傳的背景の解明を目的とした遺傳学的研究」へ参加された方</p> <p>・2011年7月から2017年3月までに「慢性腎炎の発症に關与する遺傳背景の解明を目的とした研究（国立遺傳学研究所との共同研究）」へ参加された方</p> <p>・2017年8月から「慢性腎炎の発症と進展に關与する遺傳背景の解明を目的とした研究」に参加された方</p>	
概要	
<p>腎臟病は発症の原因が不明な点が多く、有効な治療方法がありません。近年はヒトの遺傳情報（ゲノム）を解析する方法が著しく進歩し、腎臟病についても患者さんのゲノムを解析することで発症の原因が明らかになる可能性が大きくなりました。今回の研究は、主に家族内で慢性腎炎（IgA腎症）の患者さんが複数名いらっしゃるご家族を対象にして、ゲノム上の遺傳子を解析します。血液から抽出したゲノムから遺傳暗号を読み取り（シーケンス）、慢性腎炎に關係する遺傳子を明らかにすることを目的とします。家族性の慢性腎炎の原因が明らかになれば慢性腎炎全体の原因も判明する可能性があり、また有効な治療方法の開発につながることを期待されます。</p>	
申請番号	G2017-0007
研究の目的・意義	慢性腎炎の発症と進行に關与する遺傳子の同定
研究期間	遺傳子倫理審査委員会承認日から2022年3月31日まで
情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>同意をいただき採取した血液からDNAを抽出し、遺傳子の塩基配列を網羅的に読み取ります。使用するデータは、個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。共同研究として行いますので、解析情報は共同研究機関内で郵送で共有します。これらの情報は共同研究機関内で厳重に保管されます。研究データの利用については、改正個人情報保護法で定められたルールに則りデータを扱います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。</p>
利用または提供する情報の項目	臨床・腎病理所見、ゲノム情報
利用の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎・膠原病内科学、関西医科大学、昭和大学藤が丘病院

10 試料・情報の管理について 責任を有する者	本院 医療情報部 部長 赤澤宏平 新潟大学腎研究センター腎・膠原病内科学分野 教授 成田一衛
11 お問い合わせ先	新潟大学腎研究センター腎・膠原病内科学分野 准教授 後藤眞 Tel : 025-227-2200 E-mail : gotos@med.niigata-u.ac.jp